

おんだんか 温暖化は日本の農業にどんな影響を あたえるの？ えいきょう



● みどり と パパ と ママ ●

地球の温暖化問題がテレビ番組などでいろいろ話題になっていきますね。ところで、「地球温暖化」ってどんな状況をいっているのでしょうか。

地球全体にCO₂（二酸化炭素）などが増えて地球の気温が高くなることです。その結果、氷河が溶け海水が増えて海

面が上昇したり、さまざま

な生物が、いままで生息しなかった地域に新たに出現したり、絶滅したりすることが心配されています。

さらに、温暖化は日本の農業にも影響をあたえることが知られています。例えば、田んぼの稲では、実った米粒の一部が白くなってしまったりひびが入ったりして、お米の品質が落ちてしまうとか、ミカンでは、実と皮の間に隙間が空いてし

地球温暖化が騒がれてるよね

氷山が溶けて海面が上昇したり気候の変化で生態系が影響を受けたりする

そして
それだけじゃなく
実は農業にも影響があるんだ

ミカン
浮皮症
品質がおちらり
くさりやすくなる

稲
お米の品質
低下

モウなこが
起こてる
大変！
温暖化を
なんとか
しないとう！

そう温暖化を
ストップできれば
一番いいんだよね

でもそれも
なかなか難しい
ことだし

温暖化が
このまま進んでも
困らないような
対策が必要なんだ

もう「浮皮症」という症状により、品質が落ちたり、腐りやすくなったりする現象がすでに起きています。

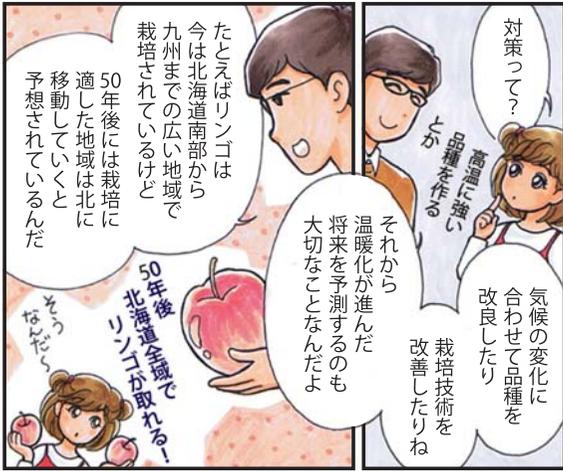
生産への影響減らす対策も

このような現象は、地球全体で進んでいる温暖化の影響の一つですので、温暖化をくい止めるための行動を全世界で開始することは大切ですが、簡単ではありません。そこで、温暖化が進んでも農作物の生産に悪影響をあたえにく

くする対策を取ることも大切になってきます。例えば、高温に強い品種や、温暖化の影響を減らす農作物の作り方を開発したりすることが重要な課題です。

正確な将来予測の情報を

また、このまま温暖化が進行した時に、農作物がどのような影響を受けるのかという将来の予測も重要です。現在、リンゴは北海道南部から九州地方の山間地にわたる幅



2060年代には産地は北の方に移動し、北海道では全地域が栽培に適した地域になると逆に、西日本では栽培に適した地域は減ってしまうことが予想されています。

こうした将来の予測を正確に行い、農業を営んでいる皆さんに前もって知らせておけば、早めの対策を取ることが出来るようになります。